

2022 年度事業報告

1. はじめに

2022 年も協会活動は新型コロナウイルス感染拡大への対応に追われましたが、通常総会の開催を対面で実施し、第 34 回「東京都中途失聴・難聴者の集い」を対面とオンラインを併用して開催することができました。また、理事会、専門委員会、専門部、サークルの活動や各種の講座・講習会も完全な形ではありませんが、関係者の努力で少しずつ以前の形を取り戻した一年でした。改めてご支援・ご協力いただきました皆さまにお礼申し上げます。

また、協会は 2022 年度も聴覚障害者の社会参加の推進、福祉の向上を目指して、東京都福祉保健局との予算懇談会や都議会各会派との予算ヒアリングを実施し、東京都の新型コロナウイルスへの対策、要約筆記者派遣事業の拡充、中途失聴・難聴者のコミュニケーション学習の充実、バリアフリーなまちづくりの前進などを求めています。

年が明けても新型コロナウイルス感染拡大は続いています。一方では新型コロナウイルスと共存した活動が本格的になりつつあります。以下、2022 年度の協会の活動を、「協会の対外活動」、「協会の対内活動と組織強化」に分けて事業報告の「はじめに」とさせていただきます。

2. 協会の対外活動

2022 年 5 月に「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」が成立しました。また 10 月には障害者権利条約履行についての日本政府報告に対する審査が実施され、「障害認定制度の見直し」などを含む総括所見も公表されました。このように、私たちを取り巻く周りにはフォローの風が吹いています。しかし、2 月には東京都内の聞こえに困難を抱える人の補聴器購入を補助するための「東京都補聴器条例」が都議会に提案されましたが、残念ながら可決に至りませんでした。今後は、各地域の中途失聴・難聴者団体と協働し、区市町村の補聴器購入補助の実現と、それを後押しする東京都の施策充実を求めています。

また、従来からの課題である東京都の意思疎通支援事業は、利用目的の公益性・広域性の要件が依然として維持されており、障害者団体の利用が制限され、協会の理事会や専門部の役員会などが利用の対象外となるなど協会活動を制約している状況は改善されていません。「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」は情報の個別性・同時性・地域格差の解消を基本理念に挙げています。協会は、この理念に沿った東京都の意思疎通支援者派遣事業の見直しを強く東京都に求めていきたいと考えます。

一方、コミュニケーション学習においては東京都主催の中途失聴・難聴者手話講習会、読話講習会、協会主催の中途失聴・難聴者手話講習会応用クラスや実践読話講習会などが対面で実施されましたが、講習会での学習を通じた受講生同士の交流、協会活動への参加が困難な状況が続き、受講生の社会参加や自立の支援で課題の残る一年でした。

また、2022 年は手話言語条例の施行、聴覚障害者が主人公のドラマのヒットなど、聴覚障害への関心が高まりましたが、中途失聴・難聴者への理解はまだまだ深まっているとはいえません。中途失聴・難聴者の困難さを周囲や社会に伝えて行くことは私たち協会の大きな役割ですが、その活動の柱となる「耳マーク」普及については、東京都の交通機関で「耳マーク」掲示の進展やコンビニでの「耳マーク」の紹介などの試みがある一方、都庁・各区市町村施設での「耳マーク」の普及は依然として不十分な状況が続いています。「耳マーク」は聴覚障害への理解を求め、福祉のまちづくりを進める非常に大切なツールです。聞こえの環境整備を福祉のまちづくりの大きな動きにしていくために、「耳マーク」と「ヒアリンググループマーク」を一体とした普及活動をさらに継続する必要があると考えます。

3. 協会の対内活動と組織強化

3.1 対内活動と組織強化

協会は 2021 年 10 月に役員改選を行い、役員研修などを通じて協会活動に対する役員の理解を深め、理事会のもとに 4 つの専門委員会と 8 つの専門部を設けて活動しています。2022 年度は、新型コロナウイルス感染継続の中、9 月に「第 34 回東京都中途失聴・難聴者の集い」を開催しました。また、「地域難聴者コミュニケーション啓発講座」や「高齢難聴者生きがい講座」の開催を継続することができ、毎年実施してき

たこれらの企画が、中途失聴・難聴者の交流を重ねる「場」として非常に重要なものであること再認識する一年でした。この成果を踏まえ、2023 年度もこれらの企画が充実した形で実施することができるよう準備を進めて参ります。

一方、協会の組織面では、協会の 2022 年度末の正会員の数が前年比 18 人減の 484 人となりました。会員数の減少はここ数年継続する問題ですが、新型コロナウイルス感染継続で講座・講習会受講生への入会働きかけが困難なこと、地域の中途失聴・難聴者団体・関係団体との交流が停滞していること、協会活動の社会的な発信が十分でないことなど様々な要因が考えられます。会員の大幅減少は協会の財政への影響にとどまらず、青年部の休部や実年部の部長不在など協会の活動にも深刻な影響をもたらしています。会員減少への対策を、2023 年度の協会活動の最重要課題として取り組んで参ります。

3. 2 協会財政

決算報告にあるとおり、2022 年度は 1,016 千円の黒字決算となりました。改めて会員の皆さまのご支援に感謝いたします。しかしながら、2022 年度の決算には、コロナ関係給付金 1,000 千円、テレビ制作協力費 770 千円、高額寄付金 1,000 千円などが含まれており、これらの一時的な収入を除外すると、実質 1,752 千円の赤字(当初予算は 1,705 千円の赤字)と考えられます。協会財政安定のために「変動費(事業費)は事業収入や補助金収入・助成金収入を充当することを原則とし、固定費は会費収入、寄付金収入、雑収入を充当する」必要性に変化はなく、財政面からも前述のように会員の増加が 2023 年度の協会の最大の課題と考えます。

4. まとめ

冒頭記述しましたように、2022 年度も協会は新型コロナウイルス感染対応に追われました。そのため、会員の皆さまと対面で交流する機会が大変少なく、会員数の減少にみられるように、協会の存在意義を問われる状態が続いております。理事会や専門委員会・専門部ではオンラインでの活動の実績を積み上げる一方、会報「協会ニュース」や協会ホームページ等を通じて協会活動を社会へ発信する努力を行っておりますが、依然として対面でなくてはできない多くのことを取り戻すには至っておりません。

新型コロナウイルスとの共存には長い時間が予想されます。また、自然災害や人道上の緊急事態が、会員の皆さまの毎日の生活や協会の活動に様々な影響を与えることも予想されます。このような状況への対応には、会員の皆さま、役員一同が力を合わせる事が何より大切と考えます。様々な課題を抱えた協会ですが、2023 年度の協会への会員の皆さまのご支援を改めてお願いする次第です。

2022 年度事業報告(一覧)
(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

1. 特定非営利活動に関わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	延べ人数
中途失聴者、難聴者の社会参加のための調査・研究、施策のための提案事業	人工内耳に関する講座	2023 年 2 月 18 日	中野サンプラザ	92
	福祉対策・コミュニケーション関連部活動	月 1 回程度	東京都障害者福祉会館 他	492
中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの充実のための社会教育事業	聴覚障害者コミュニケーション教室	年 6 回	東京都障害者福祉会館及びオンライン配信	318
	実践読話講習会	年 17 回	東京都障害者福祉会館	67
	地域コミュニケーション啓発講座	年 2 回	東京都障害者福祉会館 他	40
	地域福祉相談支援ゼミ(手話講習会応用クラス三田)	年 20 回	東京都障害者福祉会館	410
	手話講習会応用クラス多摩	年 20 回	多摩障害者スポーツセンター他	466
	例会	年 11 回	東京都障害者福祉会館 他	517
	高齢者対象「手を動かそう」	年 11 回	東京都障害者福祉会館	154
	講師等派遣	東村山市要約筆記サークルゆいま～る・品川中途失聴・難聴者「ひばりの会」・東京都旅行業協会・品川区要約筆記啓発講座 他		22
中途失聴者、難聴者の諸問題の解決のための情報収集・提供事業及び他団体との連絡調整	会報「協会ニュース」発行	月 1 回	当会事務所 他	160
	協会ホームページ運営	随時更新	当会事務所 他	36
	刊行物・耳マーク仕入れ	随時	当会事務所	11
	第 34 回東京都中途失聴・難聴者の集い	2022 年 9 月 25 日	東京都障害者福祉会館・たましん RISURU ホール(ハイブリッド開催)	227
中途失聴者・難聴者に係る相談・支援事業	高齢難聴者生きがい講座	年 8 回	東京都障害者福祉会館	91
	中途失聴者・難聴者相談事業	随時	当会事務所	29
	中途失聴者・難聴者地域支援事業	随時	東京都障害者福祉会館 他	99
中途失聴者、難聴者の文化、芸術、スポーツの振興を図る事業	文化系活動	月 1～2 回	東京都障害者福祉会館 他	1,548

2. その他の事業

自動販売機による委託販売(9 か所 10 台)

東京都庁第一本庁 4 階南側・東京都江戸東京博物館(改装工事のため撤去 10/27 まで)・

東京都第五建設事務所・東京都七生福祉園・東京しごと財団(2 台)10、11 階→(3/28 より)1、5 階・

東京都多摩職業能力開発センター八王子校・東京都西多摩保健所・

(新規 6/29 より)東京都中川水再生センター・(新規 6/30 より)東京都中央卸売市場食肉市場

2022 年度事業報告

事務局

1. 体制

事務局長: 宇田川芳江 職員: 石川千鶴・石田豊子・千羽荘一・松枝朋美

2. 活動報告

- ・理事会 4/23、5/21、6/25、7/23*、8/27*、10/1*、10/22、11/26*、12/24*、1/28*、2/18*、3/25
*印は、オンライン開催
- ・東京都福祉保健局との懇談会 7/7 (23 名)
- ・人工内耳に関する講座 2/18 (92 名)
- ・「字幕付胃検診」受付 9/3 (19 名)
- ・高齢者対象「手を動かそう」 4/11 (19 名)、5/9 (15 名)、6/13 (15 名)、7/11 (15 名)、8/8 (中止)、
9/12 (14 名)、10/10 (12 名)、11/14 (14 名)、12/12 (18 名)、1/9 (9 名)、
2/13 (11 名)、3/13 (12 名)
- ・協会ニュース発送 毎月第 2 金曜日 12 回 (会員有志の協力なし)
- ・手話言語フェス in TOKYO 2022 福祉対策部が参加
- ・「TOKYO みみカレッジ 2022」参加 2/23 ミニ読話講習会 大江千枝 オンデマンド配信 2/22～3/22
- ・後期高齢者会員へのはがき発送 4/19 (147 名)、8/25 (150 名)、11/10 (149 名) 協力: 絵手紙サークル (4、11 月)
- ・事務局会議 4/18、5/16 (中止)、6/20、7/25、8/29、9/12、10/17、11/21、12/19、1/30、2/20、3/20
- ・例会 毎月第 4 日曜日 11 回

実施日	内容	参加者数
4 月 23 日	2022 年度事業説明会	15
5 月 22 日	通常総会	378 (出席 31)
6 月 26 日	電話リレーサービス説明会	16
7 月 3 日	電話リレーサービス説明会 (多摩地域)	32
7 月 24 日	要約筆記を上手に使うヒント	65
8 月 28 日	インクルーシブミュージアムを作ろう!	46
9 月 25 日	第 34 回東京都中途失聴・難聴者の集い	三田会場 76 立川会場 54 オンライン 65
10 月 23 日	新入会員説明会 & 交流会	41
11 月 27 日	お話と作品展	18
12 月 25 日	コミュニケーションを豊かに	29
1 月 22 日	楽しく手話 DE 脳トレ	29

- ・研修協力
 - ① 東京手話通訳等派遣センター 2022 年度要約筆記新登録者研修 (6/2)
 - ② 東京純心女子中学校 総合学習「NPO 探検隊」インタビュー (7/29)
 - ③ 東京都登録要約筆記者の会 (登要会) 研修会 (2/21)
- ・他団体との交流
 - ① 全国要約筆記問題研究会 (全要研) 東京支部減災支援隊との茶話会 (7/4、11/24)
 - ② 全国要約筆記問題研究会 (全要研) 東京支部とのリアル懇談会 (10/30)
 - ③ 東京都登録要約筆記者の会 (登要会) との交流会 (2/22)
 - ④ 東京都手話通訳問題研究会 (東通研) との役員交流会 (3/4) ハイブリッド開催
- ・その他
 - ① 高齢難聴者のためのスマートフォン相談会 (9/16、11/2)
 - ② フジテレビドラマ「silent」考証

事業委員会

1. 体制

委員長:小川光彦 委員:稲井泰子・大江千枝(7月退任)・丸山由美子 事務局:宇田川芳江

2. 活動報告

委員会開催 5/12、7/14、10/19、1/12、2/9、3/9 すべてオンライン開催

11/4 手話対策部長との意見交換

1/11 選考委員会(オンライン)

3. 事業報告

I 助成事業

(1)東京都福祉保健財団助成事業

①実践読話講習会

②高齢難聴者生きがい講座

③地域福祉相談ゼミ〔手話講習会応用クラス三田〕

④地域コミュニケーション啓発講座(運営担当:組織部)

(2)森村豊明会助成事業

①読話指導者養成講座(2023年4月終了)(運営担当:コミュニケーション委員会)

II 協会委託事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

(1)聴覚障害者コミュニケーション教室(東京都教育委員会委託事業)

III 協会事業の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

(1)手話講習会応用クラス多摩

IV 各種講習会・講座への講師・スタッフ派遣の拡大を図るとともに、下記既存事業の運営管理を行った。

(1)東京都中途失聴・難聴者手話講習会(三田・多摩)

(2)東京都読話講習会

(3)東京都手話通訳等養成講習会(中途失聴・難聴者対象手話指導者養成コース)

(4)講師派遣事業

①東村山市要約筆記サークルゆいま〜る(6/14)

②品川中途失聴・難聴者「ひばりの会」(7/16、11/19)

③東京都旅行業協会(11/24)

④品川区要約筆記啓発講座(11/14)

⑤大田区障がい者総合サポートセンター(12/11、1/21)

⑥台東区役所職員研修(12/20)

⑦品川区心身障害者福祉会館(1/20、1/27、2/3、2/10、2/17、2/24)

⑧東京手話通訳等派遣センターからの依頼 中央区要約筆記啓発講座(1/17、1/24、1/31、2/7)

⑨中途失聴・難聴者「つばさの会」府中(2/11)

⑩東村山市社会福祉協議会(2/24、3/3、3/10)

広報委員会

1. 体制

委員長:小島敦子 委員:石川千鶴・村田美和・安井彩乃(11月から) オブザーバー:皆川みさ子
事務局:宇田川芳江

2. 活動内容

協会の広報を担う部署

会報「協会ニュース」と協会ホームページのあり方を検討していく。

3. 活動報告

(1)委員会開催

4/14、5/12、6/9、7/14、9/8、10/13、11/10、12/8、2/9、3/9 全10回(内9回はオンラインで開催)

(2) 協会ホームページについて

緊急情報配信についての整備。公式 LINE などにも防災委員会と協力し実施することができた。
協会ホームページのレイアウトをより見やすく整備し、Facebook の情報発信と連携を強化した。
現状、レイアウト変更や更新がしづらいつツールのため、協会ホームページのリニューアルを検討し、2023 年度に導入予定。

(3) 会報「協会ニュース」について

当事者団体としての会報のあり方を考えつつ進めた。

会報「協会ニュース」と協会ホームページの連動。

第 2 金曜日の発送の厳守。

印刷会社の紙供給ストップ等の緊急事態には他社へスムーズに依頼できた。

パソコン操作が苦手な会員にも情報が届くよう、協会ホームページの主な記事へのたどりつきかたの解説などを掲載。

(4) 11 月から委員 1 名(安井彩乃)が理事会で承認された。

■ 防災委員会

1. 体制

委員長:新谷友良 委員:有馬富江・生田真弓・前川信・米倉光代

2. 活動概要

協会定款第4条「災害救援活動」、第5条「緊急・災害時における聴覚障害者の救助・救援に関する事業」の具体化の活動を行った。

3. 活動詳細

組織部・地域の会との共催で防災講座を企画、2022年8月に開催を予定したが、コロナ禍の感染拡大により延期、2023年3月に東京都障害者福祉会館で会場参加とオンライン参加のハイブリッドにより実施した。

またLINEによる防災情報を発信するため、中難協防災LINE公式アカウントを開設、2023年4月からの配信を目標に防災委員会内でテスト配信を行った。

4. 活動報告

(1) 委員会開催 4/27(水)、5/25(水)、6/26(水)、7/27(水)、9/28(水)、10/26(水)、11/30(水)、1/25(水)
3/1(水)、3/22(水) いずれもオンラインで開催。8月、12月は、メールでの意見交換とした。

(2) 防災・公衆衛生関係の学習・広報活動

- ① 防災講座「難聴者の災害対応を学ぼう」の企画と開催の実施
- ② 中難協防災LINE公式アカウントの開設と配信方法の学習
- ③ 会報「協会ニュース」への『防災委員会』記事の掲載
- ④ 緊急情報(防災・公衆衛生関係)の配信網整備と配信の実施
- ⑤ 協会ホームページでの防災関係情報の発信(広報委員会との連携)

■ コミュニケーション委員会

1. 体制

委員長:皆川みさ子 会計:小谷野依久 委員:石川千鶴・安井彩乃・渡辺江美

2. 活動報告

(1) 委員会開催 4/18、5/18、9/21、10/19、11/16、12/21、1/18、2/15 いずれもオンラインで開催。

(2) 森村豊明会助成事業 読話指導者養成講座の企画・運営(協力:事業委員会)
・2023/3/4、3/11、3/25、4/1、4/8実施(全10回)

(3) 協会例会協力 11月例会 Zoom入門・わたしのとりせつのワークショップ

(4) 中途失聴・難聴者のコミュニケーションの課題について話し合った。課題解決には中途失聴・難聴者への情報提供と同時に社会への発信も不可欠との認識に至った。

(5) 2021年度から情報発信してきたZoom入門は、ひとまず役割を終えた。

(6) オンライン検討チームでの検討は理事会への報告を終えた。

要約筆記部

1. 体制

部長: 渡辺江美 会計: 小谷野依久 部員: 村田美和

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月7日	部会	オンライン(Zoom)	3
4月14日	部会	オンライン(Zoom)	3
5月10日	部会	オンライン(Zoom)	3
6月7日	部会	オンライン(Zoom)	3
7月9日	部会	東京都障害者福祉会館	3
7月24日	部会	東京都障害者福祉会館	3
7月24日	協会例会担当	東京都障害者福祉会館とオンラインのハイブリッド開催	65
10月11日	部会	オンライン(Zoom)	3
12月5日	部会	オンライン(Zoom)	3
1月13日	部会	オンライン(Zoom)	3
2月12日	部会	オンライン(Zoom)	3
2月22日	登要会との交流会	東京都障害者福祉会館	44
2月22日	部会	東京都障害者福祉会館	3
3月8日	部会	オンライン(Zoom)	3

福祉対策部

1. 体制

部長: 南由美子 副部長: 小谷野依久 部員: 青木典子・小海淳史・鈴木雅弘・田村玲子・橋爪由利・渡辺究
オブザーバー: 小川光彦

2. 活動報告

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月29日*	部会	8	10月20日*	部内学習会	25
5月7日*	部会	6	10月24日*	部会	6
5月20日*	部内学習会	30	10月28日*	部会	3
6月10日*	部内学習会	27	11月17日*	部内学習会	27
6月17日*	部内学習会	30	11月23日*	部会	6
6月29日*	部会	9	11月27日	協会例会協力	5
7月15日*	部内学習会	27	12月7日*	部会	8
7月20日*	部会学習会	9	12月15日*	部内学習会	33
7月29日*	部会	7	1月19日	部会	6
8月2日*	部会	7	1月29日	部内学習会	20
8月3日*	部会	6	2月9日*	部会	6
8月10日*	部内学習会	20	2月11日	手話言語フェスinTOKYO2022 協力	10
8月28日	協会例会担当	7	2月16日*	部内学習会	20
9月17日*	部会	9	3月7日	部会	7
9月29日*	部内学習会	21	3月16日*	部会	7

8月28日、11月27日、1月19日・29日は東京都障害者福祉会館、2月11日は新宿住友ビル三角広場、
3月7日は千代田区立障害者福祉センター *印はオンライン開催

手話対策部

1. 体制

部長：石川千鶴 副部長：掛水泉・和田すが 会計：国吉玲子

部員：秋山孝子・芦川君代・荒居信子・池田ひろみ・井桁洋子・内山伸子・大堀亮子・河合優子・河原日向子・神尾優子・北島恵子・小貫孝・小谷田路代・坂山己世・佐々木百合子・志村瞳・地引千恵子・杉本陽子・鈴木泰子・長沼知子・中村麻子・中村貴子・中村みずほ・原島美江・前川信・丸山利江・峯元弘子・森利恵子・屋代智子・山田恵美子 34名

2. 活動報告 場所：東京都障害者福祉会館

実施日	内容	参加者数	実施日	内容	参加者数
4月11日	部会	19	10月2日	スタッフ研修、部会	19
5月9日	部会	12	10月30日	PC自主学習会	9
6月13日	部会	中止	11月14日*	部会	17
7月6日	自主学習会(手話指導)	13	12月12日*	部会	16
7月11日	部会	15	1月16日*	部会	20
7月31日	特別講演会	中止	1月22日*	協会例会担当	29
8月8日	部会	中止	2月13日*	部会	13
9月12日*	部会	15	3月13日*	部内研修「著作権学習会」	23

*印は東京都障害者福祉会館とオンラインのハイブリッド開催

会報編集部

1. 体制

部長：小島敦子 会計：山田恵美子 部員：入江友紀子・岩崎幣介・菅波尚子・橋爪由利
オブザーバー：皆川みさ子

2. 活動報告

(1) 会報「協会ニュース」の編集

①編集会議 頁構成、投稿原稿校正、作業スケジュール、特集などの確認、企画についての話し合い。

・オンライン会議 4/2、5/15、6/8、7/10、9/14、10/10、11/12、12/14、1/14、2/11、3/12 全10回

・メール会議 8/10、1/14 全2回

②初校校正 原稿の確認、修正、レイアウトなどの最終確認作業。

4/27、5/25、6/25、7/28、8/27、9/28、10/26、11/24、12/22、1/25、2/22、3/29
全12回

③取材 上野駅 エキマトペ 8/28、9/7、昼の読話サークル・生け花教室 10/5、
新宿駅 音声変換パネル 11/6、三田絵手紙サークル 11/10、手話サークル三田夜 12/3、
多摩火曜手話サークル 12/6、手話サークル三田屋 12/9、多摩月曜手話サークル 3/27

(2) その他

①新入部員1名入部した。

②校正新ルールの見直し。

③理事の頁を持ち回りで各理事に担当していただき掲載。

④特別号を10月号の付録として発行

組織部

1. 体制

部長：有馬富江 副部長：井桁洋子・岡田修 会計：青木房子
部員：岩崎幣介・小林圭子・柴田千代子・前川信・丸山由美子

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月9日	部会	東京都障害者福祉会館	6
4月28日	ネットワークニュース 122号発行		
5月14日	部会	東京都障害者福祉会館	7
6月11日	部会	東京都障害者福祉会館	7
7月9日	部会	東京都障害者福祉会館	6
7月29日	ネットワークニュース 123号発行		
8月6日	部会	オンライン	8
8月21日	地域コミュニケーション啓発講座	東京都障害者福祉会館	延期
9月10日	部会	東京都障害者福祉会館	6
10月8日	部会	東京都障害者福祉会館	6
10月23日	部会	東京都障害者福祉会館	7
10月23日	協会例会担当 「新入会員説明&交流会」	東京都障害者福祉会館とオンラインのハイブリッド開催	41
10月28日	ネットワークニュース 124号発行		
11月13日	部会	東京都障害者福祉会館	5
11月13日	地域コミュニケーション啓発講座 「難聴者が知っておきたい自立支援システム」	東京都障害者福祉会館	16
12月10日	部会	東京都障害者福祉会館	7
1月14日	部会	東京都障害者福祉会館	9
1月27日	ネットワークニュース 125号発行		
2月11日	部会	東京都障害者福祉会館	9
3月11日	部会	東京都障害者福祉会館	7
3月26日	地域コミュニケーション啓発講座 「難聴者の災害対応を学ぼう」～私たちが災害に備え、今できること～	東京都障害者福祉会館	41

実年部

部長不在が続き活動が停滞しているため、理事・事務局が中心になり適任者の部長就任を働きかけた。年度内の新部長就任は実現しなかったが、2023年度できるだけ早く新部長を決定し、実年部活動の充実に努めていきたい。

女性部

1. 体制

部長：明田美奈子 総務：原島美江 会計：今井初恵

部員：今井節子・大江千枝・高田香苗・寺田由紀子・橋爪由利・峯元弘子・渡辺江美

2. 活動報告

実施日	内容	場所	参加者数
4月7日	部会	東京都障害者福祉会館 C1	3
5月7日	5月企画「マスクで茶話会(筆談を楽しむ)」	東京都障害者福祉会館 C1	19
6月2日	部会	東京都障害者福祉会館 C1	3
6月4日	6月企画「筆談ボード作り」	東京都障害者福祉会館 C1	16
7月2日	全難聴女性部総会	長野・松本市	1
7月20日	部会	東京都障害者福祉会館	3

9月1日	部会	東京都障害者福祉会館	3
9月3日	9月企画「女性の防災講演会」葛西優香氏	東京都障害者福祉会館	14
10月6日	部会	東京都障害者福祉会館	3
12月1日	部会	東京都障害者福祉会館	3
12月3日	12月企画「正月用しめ飾り作り」	東京都障害者福祉会館	15
2月2日	部会	東京都障害者福祉会館	3
3月2日	部会	東京都障害者福祉会館	4

■ 青年部（休部）

■ 文化部

【手話サークル 三田昼】

1. 体制 代表:中村麻子 副代表:小林彰 会計:加藤道子・川村恵子 総務:石川徳衛・内藤淑
会員数:45名
2. 活動日時 毎月第2金曜日・第2土曜日 13時30分～15時
毎月第4土曜日 10時～11時30分
新型コロナウイルス感染症拡大のため、少人数3グループ制、月1回のみ短縮学習で実施した。
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 五十嵐郁子氏
5. 活動報告 ・手話学習会は7・8月を除いて10回開催した。2023年1月より月2回の学習に戻した。
・12月例会は、クリスマス交流会を行った。(内容:五十嵐郁子講師考案の手話ゲーム、役員による手話ビンゴ大会、じゃんけん大会(景品付))

【手話サークル 三田夜】

1. 体制 代表:笹本直子 副代表:渡辺美恵子 会計:山本慶子
会員数:17名
2. 活動日時 毎月第1・第3土曜日 18時～20時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館 A1・2
4. 講師 宮本正明氏
5. 活動報告 サークル活動全24回の活動予定を今期は全て実施できたのは大きな喜びです。2022年は特にコロナ禍でずっと諦めていた当サークル恒例の散策や一泊旅行を実施することができ、これが2022年度の大きなトピックスです。7/10(日)には代表の手話ガイドで等々力溪谷から九品仏までを歩き、また11/26(土)27(日)では草津1泊バス旅行を実施。20年越しの会員の皆様も大満足でした。

【多摩手話サークル】

1. 体制 代表:牧本恵美子 副代表:志村瞳 会計:金子キミ子・奥島和子 会員数:17名
2. 活動日時 毎月第2木曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター集会室 AB(代替会場 国分寺労政会館)
4. 講師 永井邦子氏
5. 活動報告 ・講師学習日:4/14(活動報告)・5/12・6/9・7/14・9/8・10/13、11/10、12/8・1/12・2/9・3/9(反省会)
・活動実施日をメールで知らせ、月に1回の活動でしたが手話の7ポイントを始め講師の課題にそって楽しく学習した。

【多摩火曜手話サークル】

1. 体制 代表:小島敦子 会計:斉藤南海子 総務:大堀亮子・洪木靖子 庶務:新井京子 会員数:22名
2. 活動日時 毎月第1・第3火曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター 他
4. 講師 真藤千枝氏
5. 活動報告 ・講師学習会:4/5、6/7、7/5、10/4、10/18、11/1、12/6、1/17、2/7、2/21、3/7 計11回
・自習:4/19、6/21、7/19、9/6、11/15 計5回
・その他:12/20(クリスマス会)、3/21(役員会)

【三田絵手紙サークル】

1. 体制 代表:堀川すみれ 副代表:木村享子 会計:宮脇百合子 会員:14名
2. 活動日時 毎月第2木曜日 13時30分～16時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 石井幸子氏
5. 活動報告 毎月講師の議題に沿って進められました。2022年度は特に新聞紙による雛人形を作るなど、新しい企画も含まれ、先生の飽きさせないとの気持ちが充分に伝わり、楽しく会員も満足だったと思います。高齢者が多いということもありますが、病欠の人が半分以上となりましたが、新会員も増え今後の期待もできました。

【生け花教室】

1. 体制 代表:飯野堯子 副代表:中村久実子 会計:高山美穂 会員数:6名
2. 活動日時 毎月第1水曜日
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. 講師 飯野理堯氏
5. 活動報告 新型コロナウイルス感染者数が落ち着いた月にお稽古ができましたが、花展もすべて中止になりお花に触れることが少なく寂しい年でした。

【昼の読話サークル】

1. 体制 代表:須合誠子 会計:岩淵悠子 副会計:清水智恵子 委員:須合誠子 会員数:12名
2. 活動日時 毎月第1・第4水曜日 14時～16時
3. 活動場所 東京都障害者福祉会館
4. アドバイザー 三宅初穂氏
5. 活動報告 4/6(10)、4/27(6)、5/25(7)、6/1(9)、6/22(6)、7/6(7)、9/7(10)、9/28(7)、10/5(8)、10/27(5)、11/2(9)、11/23(6)、12/7(9)、2/1(10)、2/22(7)、3/1(9)、3/22(6) *()内は参加者数

【多摩月曜手話サークル】

1. 体制 代表:石川千鶴 副代表:山田恵美子 会計:芦川君代 会員数:9名
2. 活動日時 毎月第1・第3月曜日 13時30分～15時30分
3. 活動場所 東京都多摩障害者スポーツセンター・立川周辺施設
4. 講師 田中陽子氏
5. 活動報告 ・講師指導:6/20、11/21、12/19
・自主学习:4/4(総会)、4/25、5/16、5/23、6/6、7/4、8/1、9/5、10/3、10/24、11/7、12/5、1/23、2/6、2/27、3/6、3/27